

# 賛否伯仲 勝利へ緊急支援を

滋賀・湖南地区からのべ70人が福島区へ

## 大事さ現地で実感



滋賀・湖南地区（草津・守山・甲賀・野洲・湖南・栗東の各市）は甲賀市議補選（18日投票）後、のべ70人が支援に入り、28日には早い人は朝7時過ぎに自宅を出て、15人が福島区で行動（写真）。午前、午後2ラウンドでピラ1200枚配布、ハンドマイク宣伝は2隊が1万2000歩、歩きながら行いました。

野田阪神商店街では「ここは福島区や。なんで北区にされなあかんねん。大阪市はなくなしたらあかん」と激励さ、公明党のポスターが貼ってある家からは、そっとのぞいて小さくマルのサインを出すこともありました。行動に参加した人は「現地に来て住民投票の大事さが一層分かった」などの感想が出されました。地区では支援の人の目標を突破していますが、最終盤、さらに強化することにしています

兵庫・東灘・灘・中央地区から131人が港区へ

## 大阪だけの問題でない。

## 何としても

地区委員会・近藤秀子さんの話

港区に支援隊を送っています。朝潮橋という駅でよく宣伝するのですが、「ピラをもっとほしい」とか、「反対と50回くらい書きたい」などの反応があり、みんな逆に励まされています。毎日宣伝しているので、顔見知りもでき、「ピラは昨日もらいました」と言われますが、日刊ピラは毎日なので「新しいのです」というとまた受け取ってくれます。迷っている人もまだまだいますが、「大阪都にはなりません。大阪市がなくなります」「コロナで大変な時になんで住民投票か」など話したら「ホンマに

そうやね」と。「話せば分かってくれる」と支援に行った人は、元気になっています。

昨日は同じ場所で維新も宣伝。彼らは若いし、声も通るが、こちら10人ほどの宣伝隊でにぎやかに負けずにはがんばりました。最後まで情報を届けていきたいです。

テレデータも地区で4200軒預かっていますが、まだ声かけられたのは半分ぐらい。「もう投票に行きました」という人も増えてきていますし、1割強が決めかねている感じなので、早くかけていきたいです。

支援隊は目標の120人を超え、のべ131人になっています。あと数日と、最後の投票日は特に手薄の場所が何か所かあるようなので数十人送る必要があると考えています。大阪だけの問題ではなく、総選挙にもかかわってくるので、ここで何としても勝利したいです。



朝潮橋での宣伝

## 山下議員秘書、京都の支援で元気

鶴見区委員会

支部長夫妻が頑張っている鶴見区・大宮支部に山下よしき参院議員秘書が張り付き。支部の二人が交代で秘書と行動し、一緒に長く会えなかった支持者とも対話ができました。励まされ「毎日動こう」と頑張っています。

茨田西支部は京都のオルグに参加してもらい活動計画を相談。オルグと一緒に地域訪問することを決め26、27日に二組ずつで回り、100軒以上訪問。「反対」確認を70軒できました。参加した人は「楽しかった」の感想。Y支部長も「本当に良かった。元気をもらった」と大喜び。「あの人たちはすごい」と感心していました。

### 20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 61(2020. 10.28)